

「ちゅうぎんDX戦略」策定

2024年5月にDXのさらなる加速に向け「ちゅうぎんDX戦略」を策定しました。

これまで「構造改革(ハード面)」「行動改革(ソフト面)」を実施しており、中期経営計画「未来共創プランステージⅢ」で描いた2030年の目指す姿「幸せが循環する地域」の実現に向け、邁進してまいります。

『人・地域ありき』

私たちがDXを進めていくうえで大切にしているキーワードです。何のために今、DXを進めるのか。それは、ちゅうぎんグループ最大の財産である「人材」がより輝ける存在になるためです。

最新のテクノロジーを活用することで、今まで培ってきた専門的なノウハウが伝承されます。また、デジタルを活用することで、より多くのお客さまにより多くのサービス提供が可能になります。

“地域が日本を牽引する時代へと進化する”その一翼をちゅうぎんフィナンシャルグループが担いたいと考えています。

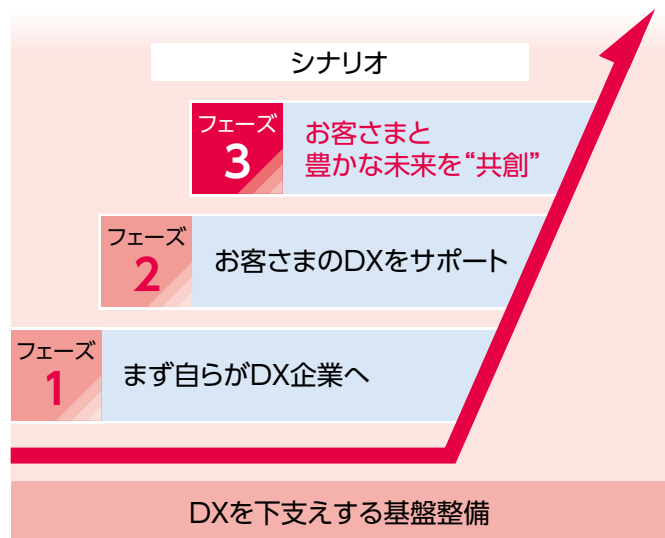
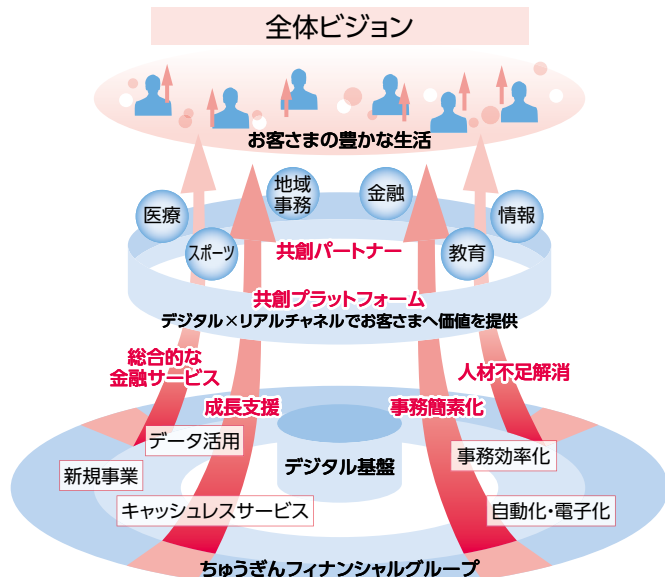
ちゅうぎんDX 全体ビジョン

デジタル基盤から生み出す課題解決に向けたソリューションを駆使しながら、共創パートナーとともに「共創プラットフォーム」を構築し「お客さまの豊かな生活」を実現します。

ビジョン実現に向けたシナリオ

まずは自らがDX企業となり、地域のお客さまへの提供価値を最大化します。そのうえで、個々のお客さまのDXのサポート役となり、ひいては地域全体の豊かな未来を“共創”することを目指します。

また、内部開発体制やリスクリテラシー強化など、DXを下支えする基盤・機能を構築します。



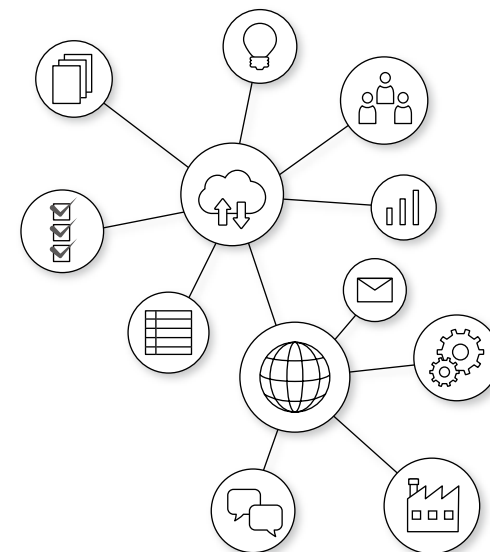
イノベーションの創出に挑戦する背景

加速度的なデジタル化の進展や不確実性の高まる事業環境に柔軟に対応しつつ持続的に企業価値を高めるためには、イノベーションの創出が不可欠です。地域社会の課題解決や多様化するお客さまのニーズに応え続けていくためDX、新規事業、外部連携を中心に次なる成長に向けた新たな価値の創造を目指します。

DXにより狙う効果

地域と人がデジタルでつながり、地域全体、お客さま、ちゅうぎんグループ社員にとって価値のある効果を創出します。

- 地域**
 - デジタル浸透による地域インフラ全体の利便性・満足度向上(金融、教育、医療)
 - 地方創生のモデルを全国へ展開
- お客さま**
 - 暮らしや事業と密接につながった金融サービスを活用
 - 多様なライフスタイルや事情に合わせ、いつでも・どこでも最適なサービスを活用可能
- 私たち**
 - 人財のエンゲージメント最大化
 - デジタルスキル向上
 - DX効果の社員・株主への還元



DX収益インパクト

高い収益目標(ムーンショット目標)を設定し、チャレンジし続ける組織文化を醸成します。

